

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護予防把握事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	支援が必要と思われる者を早期に把握し、早期に支援につながる事で介護度の重症化が予防できる。
事業内容	支援が必要だと市や地域包括支援センターに相談に来た者や、地域・関係機関からの情報を活用し、閉じこもり等何らかの支援を要する者を把握し介護予防活動につなげる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度までは、二次予防事業対象者把握事業として65歳以上の要介護・要支援未認定者に対し基本チェックリストを配布し実施していたが、平成27年4月の介護保険法の改正により、実施方法が変更となり、介護予防・日常生活支援総合事業として新たに位置づけられた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	基本チェックリスト実施者数	32	37	47	人	↑↑↑
②	かかりつけの薬局による基本チェックリスト実施		39	59	人	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	974,952	1,154,041	1,071,200
事業費(b)(円)	221,952	467,541	400,000
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	753,000	686,500	671,200
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

市や地域包括支援センターにて基本チェックリストを実施し、事業対象者となる方は増加傾向にある。また、かかりつけの薬局による生活機能低下者早期発見事業を平成28年度より流山市薬剤師会へ委託し、平成29年度途中から市内薬剤師会会員の全薬局の協力を得て、基本チェックリストの実施のほか、相談窓口となる地域包括支援センターの周知を行っている。うち、6名の方については本人の同意のもと薬局から地域包括支援センターへ情報提供が行われ、支援につながっている。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	相談窓口である地域包括支援センターのPRを積極的に行う。また、かかりつけの薬局において必要な方が相談窓口の情報を得られるようにする。	③取組の課題	相談窓口である地域包括支援センターについての認知度がまだ低く、引き続き周知方法が課題である。
②今年度(H29)に実施した取組	かかりつけの薬局による生活機能低下者早期発見事業への協力をより多くの薬局から得られるよう依頼し、年度途中より薬剤師会加入の全薬局の協力を得ることができた。	④今後(H30以降)の改善計画	引き続き、支援が必要と思われる方が地域包括支援センター等の相談機関につながるように、薬剤師会をはじめ、関係機関との連携を行っていく。